

Title	明治時代、東北地方における最初の女性写真師の足跡を辿って
Sub Title	Following the footsteps of the first women photographer in the Tohoku region in the Meiji era
Author	ガボリオ, マリ(Gaboriaud, Marie)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>明治時代、日本に文明開化の波が押し寄せると、様々な新しい職業が出現した。写真師もその一つで、写真館は瞬く間に日本中に広まった。大半は男性であったが、女性も存在し、多くは夫または父親の写真館を手伝う形で関わっていたようだが、ごく少数、自らが中心となり活躍し、写真の普及に重要な役割を果たしたと思われる。残念ながら写真史上で取り上げられる事は殆どなかった。本研究の目的は東北地方での現地調査においてこれまであまり知られていなかった女性写真師に注目し、彼女達が写真普及において大きな功績を残した事実を再評価する事、さらにこの地方における当時の女性の社会的位置についても考察する事にある。</p> <p>山形県酒田市で明治時代に初めて開かれた写真館の調査を行った際、女性写真師として当時としては珍しい活躍を見せた池田真佐(本名：芳江(1865-1930))の存在を知った。他にも存在する可能性を考え、東北地方に限り調べた結果、青森県弘前市で当時、矢川写真館を開業していた矢川蓮(1862-1945)、美喜(1869-1945)という姉妹にたどり着いた。そこでまずこの3人の女性写真師の業績と経歴を調べてみた。彼女達の資料・撮影した写真を収集し、さらに当時の新聞、雑誌に掲載された写真館の広告等を探し出した。郷土史に詳しい方々から話を聞き、彼女達が生活した町の歴史や当時の地域社会等についての資料も集めた。無名ながらも女性写真家のパイオニアとして活躍した彼女達は、一世紀以上を経て、当時の酒田や弘前の町、写真館に足しげく通った人々の様子を写真という媒体を通して生き生きと伝え、この地方の明治時代の状況を多角的に考察するための貴重な史料として私達に残してくれた。本年度はこの研究の結果を論文でまとめる予定である。また研究のため入手した3人の女性写真師の撮影写真をデジタル化し、データベースに整理した。今後参照が容易になり、より良い状態での保存が可能になると思われる。</p> <p>日本の写真史についての研究が数ある中、明治時代の女性写真師については、最初の女性写真師とされる群馬県出身の島隆(1823-1899)以外、ほとんど語られていない。そこで初期の写真師を取り上げた事典や文献をもとに、全国レベルで紹介されている女性写真師の数、プロフィールを確認してみた。また東北地方の各県における同様な存在について、現地調査の第一段階(各県の県立図書館・市立図書館・古本屋等での資料収集など)を行ったが、調査の継続が必要である。今後も今まで殆ど注目されることのなかった日本の女性写真家のパイオニア達が、実際、各地において、写真の普及に大きく貢献していたという事実を証明したい。</p> <p>One of the new professions that emerged with the introduction of Western culture in late 19th century Japan was that of commercial photographer. It was around this time that photography studios spread quickly across the country. Whilst men dominated this new profession, women also played an important role in the dissemination of photography. Most supported their husbands or fathers engaged in this work. Others, although few in number, made it their profession, but these have largely been overlooked by studies of the history of Japanese photography. In this study, we follow in the footsteps of three women who opened photography studios in two small towns in the Tohoku region, Sakata (Yamagata prefecture) and Hirosaki (Aomori prefecture). The photographs that they left us constitute precious documentary records of this period. They also allow us to reassess the extraordinary contribution to the dissemination of photography made by pioneering women photographers at a local level.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190053

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	経済学部	職名	教授	補助額	200 (B) 千円
	氏名	ガボリオ マリ	氏名 (英語)	Marie Gaboriaud		
研究課題 (日本語)						
明治時代、東北地方における最初の女性写真師の足跡を辿って						
研究課題 (英訳)						
Following the footsteps of the first women photographer in the Tohoku region in the Meiji era						
1. 研究成果実績の概要						
<p>明治時代、日本に文明開化の波が押し寄せると、様々な新しい職業が出現した。写真師もその一つで、写真館は瞬く間に日本中に広まった。大半は男性であったが、女性も存在し、多くは夫または父親の写真館を手伝う形で関わっていたようだが、ごく少数、自らが中心となり活躍し、写真の普及に重要な役割を果たしたと思われる。残念ながら写真史上で取り上げられる事は殆どなかった。本研究の目的は東北地方での現地調査においてこれまであまり知られていなかった女性写真師に注目し、彼女達が写真普及において大きな功績を残した事実を再評価する事、さらにこの地方における当時の女性の社会的位置についても考察する事にある。</p> <p>山形県酒田市で明治時代に初めて開かれた写真館の調査を行った際、女性写真師として当時としては珍しい活躍を見せた池田真佐(本名:芳江(1865-1930)の存在を知った。他にも存在する可能性を考え、東北地方に限り調べた結果、青森県弘前市で当時、矢川写真館を開業していた矢川蓮(1862-1945)、美喜(1869-1945)という姉妹にたどり着いた。そこでまずこの3人の女性写真師の業績と経歴を調べてみた。彼女達の資料・撮影した写真を収集し、さらに当時の新聞、雑誌に掲載された写真館の広告等を探し出した。郷土史に詳しい方々から話を聞き、彼女達が生活した町の歴史や当時の地域社会等についての資料も集めた。無名ながらも女性写真家のパイオニアとして活躍した彼女達は、一世紀以上を経て、当時の酒田や弘前の町、写真館に足しげく通った人々の様子を写真という媒体を通して生き生きと伝え、この地方の明治時代の状況を多角的に考察するための貴重な史料として私達に残してくれた。本年度はこの研究の結果を論文でまとめる予定である。また研究のため入手した3人の女性写真師の撮影写真をデジタル化し、データベースに整理した。今後参照が容易になり、より良い状態で保存が可能になると思われる。</p> <p>日本の写真史についての研究が数ある中、明治時代の女性写真師については、最初の女性写真師とされる群馬県出身の島隆(1823-1899)以外、ほとんど語られていない。そこで初期の写真師を取り上げた事典や文献をもとに、全国レベルで紹介されている女性写真師の数、プロフィールを確認してみた。また東北地方の各県における同様な存在について、現地調査の第一段階(各県の県立図書館・市立図書館・古本屋等での資料収集など)を行ったが、調査の継続が必要である。今後も今まで殆ど注目されることのなかった日本の女性写真家のパイオニア達が、実際、各地において、写真の普及に大きく貢献していたという事実を証明したい。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>One of the new professions that emerged with the introduction of Western culture in late 19th century Japan was that of commercial photographer. It was around this time that photography studios spread quickly across the country. Whilst men dominated this new profession, women also played an important role in the dissemination of photography. Most supported their husbands or fathers engaged in this work. Others, although few in number, made it their profession, but these have largely been overlooked by studies of the history of Japanese photography. In this study, we follow in the footsteps of three women who opened photography studios in two small towns in the Tohoku region, Sakata (Yamagata prefecture) and Hirosaki (Aomori prefecture). The photographs that they left us constitute precious documentary records of this period. They also allow us to reassess the extraordinary contribution to the dissemination of photography made by pioneering women photographers at a local level.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			